

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672900190
法人名	医療法人 健誠会
事業所名	グループホーム すこやか
所在地	鹿児島県日置市東市来町湯田3007番地 (電話) 099-274-3672
自己評価作成日	平成27年11月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住宅街に建てられたホームであり、周囲には公園や商店街などがあるが国道から少し中に入っており、静かで安全な環境にある。医療機関も併設しており、健康管理を行う上で、ご家族にも安心と信頼を得られた生活が送れている。入居者の方々が楽しく、笑顔ですこやかに暮らす為に、日々の関わりと、会話を大切にし、毎月の季節にあった行事を行いながら、入居者の持てる力と笑顔を引き出せるように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは母体である医療法人に併設された建物で、24時間医療連携体制が整っており、利用者や家族に医療面での安心感を与えている。
- ・自治会に加入し、地域との交流は地域行事への参加や法人行事への地域住民の参加など盛んである。日常的に散歩や買い物、通院でのリハビリなど外出の機会も多く地域の方々との挨拶や会話など馴染みの関係が築かれている。
- ・利用者の力量に応じて生活リハビリを中心に、普通の生活が送れるよう、時間に追われないゆったりとした環境のもと、楽しく暮らせるようにとの目標で支援している。
- ・利用者と職員とのコミュニケーションが取れるように工夫し、家庭的な雰囲気の施設である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「地域社会の一員として」安心して過ごせるという地域密着型サービスの趣旨を反映させた理念に基づき実践に努めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念は基本倫理10ヶ条と共に玄関や事務所へ掲示、職員は名札の裏にも記載している。月1回、すこやか会議において確認と振り返りを行い、理念に沿ったケアの実践を常に心がけている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域の行事には積極的に参加している。散歩や買物で出会う方々と気軽に声を掛け合ったり、立ち寄ってもらえるように日常的な会話をしている。	自治会に加入、回覧板で地域情報を得て積極的に地域行事の夏祭り等への参加や法人行事への招待、介護予防ボランティアや演芸ボランティアの受け入れ、地域の保育園の慰問など交流が盛んである。散歩や買い物時など近隣住民との日常的な会話も持たれている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域行事等に参加した際、地域の方々へ何でも気軽に相談して頂けるように呼びかけたり、福祉体験学習や介護実習生の受入れも要請があれば積極的に受入れられている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>生活状況及びサービス提供状況を報告し、意見交換を通して、毎月の振り返りを行いながら、サービス向上に向け取り組んでいる。</p>	<p>会議は定期的開催し、ホームや利用者の状況報告・アクシデント報告・外部評価結果報告などを行い、意見交換がなされている。出された意見や提案は話し合い運営に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市町村とは書類手続きやサービス提供に関し、何でも気軽に相談にのってもらえるような言葉かけをしてもらっており、意見交換をしながらサービスの向上に取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議参加や市介護予防連絡協議会での連携、書類手続きや相談・報告など、日頃から連携を密に行っている。市主催の研修会へも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員全員が鍵をかけることへの弊害を理解出来るよう、職員会議や勉強会を通して説明し、ホームの出入り口には、センサーを設けて入居者の方々の安全に配慮している。また、言葉かけによる拘束にも注意を払いながらケアに努めている。</p>	<p>指針・マニュアルがあり、外部研修や法人内研修・勉強会を通して身体拘束についての正しい理解と知識を深めている。玄関にセンサーを設置し外出には職員が付き添い対応している。言葉による拘束も含め身体拘束ゼロを実践している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員会議や勉強会を通し、抑制や虐待について考え、個々の対応を振り返り、情報を共有しながら、職員一人ひとりが意識したケアにつながるよう注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	過去に成年後見制度を利用した事例はあるが、現在対象者はいない。必要な方がいらした場合には支援していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書は、十分な説明を行った上で、ご家族の同意を得ている。解約は契約者との話し合いの中で、信頼関係のもと円滑に行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者からのサインを見逃すことのないよう、些細な事でも職員が早めに気づき対応し、職員間の申し送りをその都度行うように努めている。また、家族や入居者の会話に努め、不満や相談事などがなければ確認し、早期解決を図っている。	利用者については日常会話や表情・しぐさから思いを汲み取るよう心がけている。家族からは利用開始時のアセスメント、年1回のアンケート調査や年2回開催される家族会、毎月の状況報告時に意見や要望を把握するよう努めている。申し送りノートに記録し職員で共有し、意見を運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や定期的な個人面談等で、職員からの意見を聞くようにし意見や助言を行いながら、話し合いの中で必要なことを出来るだけ、取り入れるようにしている。</p>	<p>職員は各自、目標を決めて自己評価を行い機会あるごとに目標達成について管理者と個別面談を行っている。ミーティングや会議時・個人面談で意見や要望を聞く機会を作り話し合いで反映させるように心がけている。年3～4回、食事会を計画し、話しやすい環境づくりに努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課制度の導入に取り組み、自分なりの評価をそれぞれ行い、職員がどう感じているか把握し、必要があれば、職場環境・条件の整備を行い、柔軟な勤務体制に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内学習のほか、外部研修への参加、毎月の勉強会や職員会議を通して、日常のケアを確認しながら、その都度必要に応じて指導を行い、職員育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホーム間で、運営推進会議への相互参加を行い意見交換を行っている。また、日置市連絡協議会の研修参加や連絡会での交流や意見交換が出来ており、質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日常生活の中で出来るだけ、言葉かけを行い、顔を覚えて頂き話を引き出すようにし、不安を最小限に押さえられるように務めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の面談にて家族の困り事を充分把握し、入居されてからは、ご本人の状態把握に努め、面会時等家族へ報告を行い、信頼が得られるように努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者及びご家族が何を望んでおられるかを良く聞き、どのような支援が最適か、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	老いや認知を感じさせないように、言葉かけには十分配慮し、個々のできる事をみつけて共に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に出来るだけ日常生活の様子を報告したり、家族と情報を共有して、良い関係作りに務めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族はもちろんの事、知人、友人等の自由に会いに来れるよう支援している。また家族との外出をすすめ、外との繋がりも大切にしている。	利用者は地域出身がほとんどで、家族や知人の面会者が多く、お茶をだしたりして面会に来やすい環境づくりに努めている。散歩がてらの買い物や家族の協力を得ながら外出や外泊・墓参りなど関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席順の配慮を行いながら気のお友達とテーブルを一緒にしたり、さりげない言葉かけや援助で、入居者同士関わり合いがもてるよう声かけ支援に、努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	疑問や困ったことなど、いつでも相談していただけるような関係づくりに努めている。また、病院のMSWや居宅介護支援事業所とも情報交換が出来るよう連携に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、ご家族にどのような暮らしを希望されるか良く聞き、出来るだけ希望に添った暮らしが出来る様に務めている。判断が困難な方も、出来るだけ本人の気持ちを考慮し支援している。	ゆっくり会話ができる入浴時やホールで思いを聴いている。職員で情報収集したアセスメントを課題分析して、利用者の思いや意向を把握し共有したケアができるようにしている。意思疎通が困難な場合は家族や職員で話し合い本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者個々の想いを受け止め、ご家族や知人からも、生活歴などを聞くように努め、家族、本人から知り得た情報は職員間での共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活を通し本人の状態把握に努め、日々心身の状態変化など、申し送りや日誌で情報を共有し、生き甲斐を持って生活が送れるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人との日常の会話やアセスメント等で得られた意向に添って、必要な関係者と話し合い、職員会議等での意見交換を経て、介護計画を作成している。	担当制となっており担当が主となり、本人や家族から思いを聴き、日々の気づきを申し送りノートで共有し介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行っている。担当者会議には家族の都合に合わせて計画し、主治医の意見を踏まえ現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の気づきや、実践、結果など個別に記録し、日誌や送りノートで情報共有している。不明な点はその都度確認して、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人希望により必要物品を購入したり、毎月の定期受診を行ったりしている。無理無く家族との外出が出来る様に、希望があれば、車椅子の貸し出し等行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の方のボランティアをお願いしたり、保育園児の慰問時には子ども達とふれあったり、出来るだけ地域の方々との、関わりを持てるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療機関の支援は、本人の意向やご家族の希望を優先し支援している。また、協力病院で定期的に受診を行い、緊急時の対応を含め、適切な医療ケアが提供できるよう努めている。</p>	<p>隣接する協力医療機関がかかりつけ医であり24時間医療連携体制がとれている。他科受診も含め受診は施設職員が対応し、主治医や家族との連携を取っている。受診後は必ず家族に報告を行い服薬変更や追加などのときは、特に詳しく説明している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の外来看護師との連携で、健康管理について気軽に相談でき、支援が出来る体制にある。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、必要な情報を提供し、医師からも入院計画書の提供などを受け、連携を図り早期に退院できるよう情報交換や相談に努めている。また、職員や入居者も面会に行き励ましの言葉をかけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族会や運営推進会議などを通して、重度化や終末期に向けた方針の共有を図っている。また家族の希望を聞き、医療連携を図りながら出来るだけ最後まで、本人らしい生活が出来る様に細かいケアに努めている。</p>	<p>重度化に向けた、指針やマニュアルがあり、最初で家族に説明して、同意を貰っている。重度になってきたら早めに、家族に話して、協力体制を相談したり、医療との連携も細かく行いできるだけ最期までケアができるようにしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急対応について、職員会議や個別に説明を行っている。また、救急対応については、職員の不安等の確認を行い、勉強会で理解し、夜間対応についても協力病院と連携できている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>◎災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>入居者参加で年2回実施しており、自治会の方々に参加の願いをし、公民館長、民生委員の方々に参加してもらっている。</p>	<p>年2回、昼夜想定消防避難訓練を実施している。地域の関係者からの協力がある。自動通報装置や災害対策の器具など定期的に点検を行っている。隣接する医療機関からの応援体制も整っている。緊急通報装置やプリンクラー・緊急連絡網もあり、災害時の食糧等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会議や勉強会や、その時々 の場面で、自尊心を傷つけない ように指導を行い、日常的に職 員間でも一人一人を尊敬する心 で接するように心がけている。	マニュアルがあり、法人の研修 計画にも権利擁護、接遇マ ナー、認知症など尊厳とプライ バシーに関する研修が組み込ま れている。常日頃から人格の尊 重や誇りやプライバシーを損ね ない言葉かけや対応に気を付け ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表 したり、自己決定できるように働きかけ ている	決めつけた言葉かけにならない ように言動の観察を行い、個人 の意見を尊重したケアに努め、 自己決定出来ない方には、その 気持ちになり支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している	基本的には、日課に沿った生活 ではあるが、個々の意向に合わ せ、無理強いしないよう言葉か けを行い、希望があれば可能な 限り対応し支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれが できるよう支援している	朝の洗顔時は髪を整えたり、日 中の服装は自分で選んだり、選 べない方はその方に合った服を 選び着用してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の嗜好を把握し、季節の食材など提供し喜んでもらえるように努めている。食事準備の参加は難しいが、後片付けには必ず、どなたか参加してもらっている。	嗜好調査を実施したり、食事形態も個々に合わせた提供をしている。季節の行事食や手作りのおやつ、外食やバイキング、職員と一緒に会話をしながら同じ食事を摂るなど、食事を楽しめよう工夫している。個々の力量に応じて茶わん拭きや味見・片付けなど職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月初め1週間の水分チェックと毎月体重測定を行なっている。食事摂取量は毎食行い、本人の状況を確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの状況を確認し、入居者個々の状態に応じて、言葉かけや誘導、介助を行い口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の活用を行い個々の排泄パターンを把握し、出来るだけ失禁にならないように時間誘導や言葉かけ誘導を行い、気持ちよく排泄が出来るように支援している。	トイレの自立支援に向けて、基本となる排泄パターンを把握し、記録している。利用者の動作やしぐさ・顔の表情などで判断し声かけして、トイレへの案内介助している。水分摂取の状況やヨーグルト・牛乳などで便秘対策も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日頃より食事のバランスや、散歩、水分摂取量等配慮している。また便秘についての理解をし、出来るだけ下剤に頼らないで自然排便が出来る様に、乳製品の提供を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は希望に添えない日もあるが、入浴時間の範囲内で順番や時間など、本人の希望に添えるようにしている。また、週に2日は入浴剤を使用し、温泉気分を味わってもらえるように努めている。	隔日の午後入浴を実施。拒否のある方については家族の協力を得たり、時間差や声かけで入浴を促したり、清拭や足浴・更衣も行っている。週2回は入浴剤を使い入浴が楽しめるように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々の日課にとらわれず、その日の体調に合わせた休息や個々の生活習慣を見守り、不安なく安眠出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りや勉強会等を行い、理解してもらうようにしている。薬の変更等は申し送りを通して、変化がないか観察を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあった生活リズムが作れるよう日常の会話や家族からの情報をもとに、個々の得意な事を見出し、生活習慣を活かしながら生きがい対策支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その時、その日の希望に添う事は難しいが、出来る範囲で散歩など行うようにしている。毎月の行事で、花見、そうめん流しなど、家族の参加も促し屋外へ出掛けている。	日常的には近隣の散歩や週4回、外来でのリハビリへ出向いている。計画を立てて地域行事や買い物ツアー・花見・そうめん流しなど家族へも参加を促し園外へ出かけている。家族の協力で外出や墓参りなど支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の能力にあった金銭管理を行ない、行事や買い物への参加で、使える支援を行なっている。また、ご家族の理解のもとそれぞれに対応できるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の取次ぎはもちろん、自分でかけたいとの希望があれば個々に合わせた対応をしている。また、年賀状作成を行い、施設にいても交流が持てるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温、湿度を確認し、過ごしやすい環境を心がけている。ホールには季節の花を飾ったり、毎月職員が壁画を作成し、話題を共有し、今の季節を楽しんでもらえるようにしている。	共用空間は大きな窓があり明るい。室温・湿度調整がなされ掃除も行き届いている。全体的に木目調で落ち着いた雰囲気になっている。季節の花や全員で作成した季節に合わせた飾り付けがある。精神的に刺激する不愉快になるようなものはなくゆっくりくつろげるスペースになっている。広いスペースにソファが置かれ居心地良く過ごせる環境となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自席やソファで思い思いに過ごせる居場所があり、本や新聞、テレビなど自由に観賞できる。また、気の合う方との会話やテーブル配置も工夫し、居心地の良い空間づくりに努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に使い慣れた物を持ちこんで頂くように声かけを行っている。本人にとって使い慣れた物ばかりではないが、家具などの配置は動きやすく安全な動線に考慮している。</p>	<p>居室は高窓があり明るい雰囲気である。ベッドやタンス・エアコンが設置され、テレビや家族の写真・手芸品等の使い慣れたものが持ち込まれ、個性ある部屋の雰囲気で居心地良く過ごせる環境となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや洗面所、居室など、目印や案内をして出来るだけスムーズに動けるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない